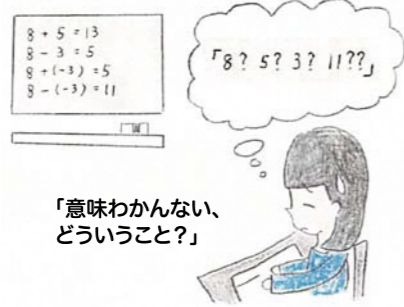


事故や病気で脳に損傷を受けた後に、子供が変わってしまい、家庭や学校の中でこんなことに困っていませんか？

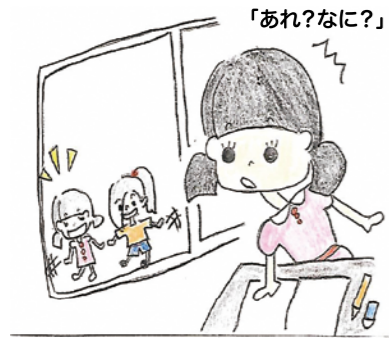
もの忘れをする



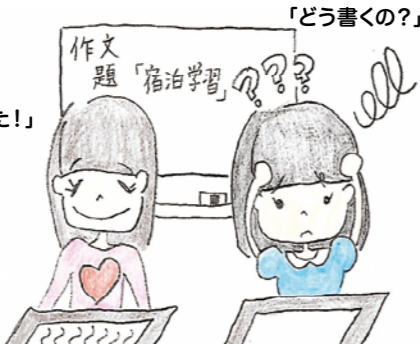
内容が理解できない



集中できない



取りかかれぬ



しつこい



すぐにキレル



つかれる



友達関係がうまくいかない



症状や生じる問題は、年齢や障害状況などにより、個人差があります。そのため、個々の特性に合わせて対応していくことが大切です。

相談機関

■ 高次脳機能障害に関する相談機関

- 東京都心身障害者福祉センター
(東京都高次脳機能障害専用電話相談)
電話 03-3235-2955
受付時間 午前9時~12時、13時~16時
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shinsho/shien/sien4.html>



- 区市町村の相談窓口
※連絡先は、お住まいの区市町村により異なります。

■ 子供の発達や育児に関する相談機関

- 東京都児童相談センター・児童相談所
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/jicen/list.html>
- 子供家庭支援センター
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/kosodate/ouen_navi/center.html
※連絡先は、お住まいの区市町村により異なります。

■ 学校教育に関する相談機関

- 東京都教育相談センター
<http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/>
- 区市町村の教育相談所(室)
<http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/links/row.html>
※連絡先は、お住まいの区市町村により異なります。

■ 精神保健福祉に関する相談機関

- 東京都立中部総合精神保健福祉センター
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/chusou/index.html>
- 東京都立多摩総合精神保健福祉センター
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tamasou/index.html>
- 東京都立精神保健福祉センター
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/sitaya/index.html>
※都内に3か所あります。連絡先は、担当地域によって異なります。
- 保健所・保健センター
※連絡先は、お住まいの区市町村により異なります。

■ 地域の相談窓口

頭の病気(急性脳症・低酸素脳症・脳腫瘍など) けが(交通事故・転落・脳しんとうなど) による後遺症

『あの日から変わってしまった、うちの子は……』

もしかしたらお子さんは

高次脳機能障害 かもしれません



忘れる



つかれる



すぐ怒る



「やさしかったのに、すぐ怒るようになった」

「どうなっちゃったの?」



高次脳機能障害とは

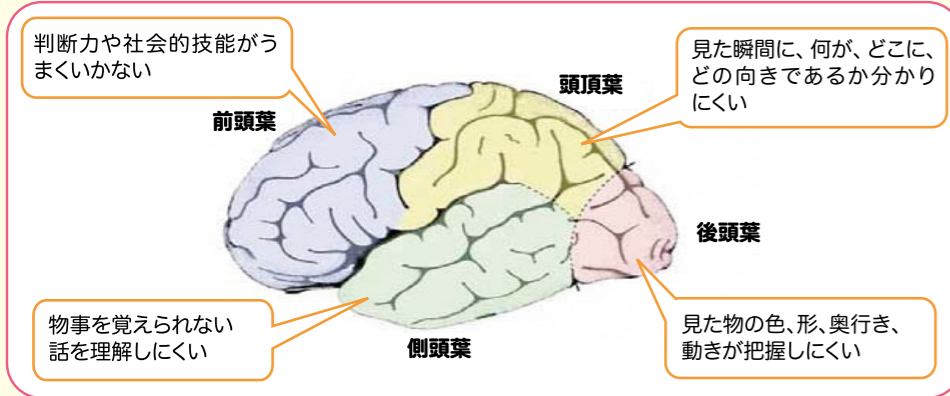
お子さんが転倒や転落、交通事故やスポーツ事故などで頭を強く打ち、脳しんとうを起こしたり、意識がなくなったりしたことがありますか。
 突然の激しい頭痛や手足のけいれんにより、救急車で運ばれたことはありませんか。

高次脳機能障害とは、事故や病気などで脳が損傷を受けたことによる後遺症で、記憶・注意・思考・行為・空間認知などの脳機能の一部に障害が起きた状態をいいます。

【原因となる主な疾患】

急性脳症、髄膜炎、頭部外傷(脳挫傷、硬膜外血腫、硬膜下血腫、脳内血腫、外傷性クモ膜下出血、びまん性軸索損傷など)、低酸素脳症、脳血管障害(脳梗塞、脳出血、脳動静脈奇形、もやもや病など)、ウイルス性脳炎、脳腫瘍など。

事故や病気により脳に損傷を受けると、損傷した脳の部位により、以下のような症状が出る場合があります。



子供の高次脳機能障害の特徴

- * 覚えられない
- * 集中できない
- * 段取りが悪い
- * すぐにキレル
- * 時間がかかる
- * 疲れやすい

※ 脳損傷の原因や程度により症状は異なります。
 ※ 発達の段階や周りの環境(家庭・学校)により症状は変化します。

発達障害とちがうの？

- * いわゆる発達障害(自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症など)の多くは、生まれた後の事故や病気が明らかでなく、生まれつきの脳機能の障害が原因で生じると考えられています。一方、高次脳機能障害は、事故や病気などによる後天的な脳損傷が原因の「中途障害」です。
- * 高次脳機能障害は、発達障害と同様の症状が継続して見られる場合、発達障害の診断がつくこともあります。

高次脳機能障害は、健康だった子供が事故や病気により以前と違った状態になるため、本人、保護者、兄弟姉妹、同級生、学校関係者は、受け入れることが難しかったり、とまどうことがあります。
 障害による情緒面の変化が、性格によるものと誤解されたりするので配慮が必要です。

高次脳機能障害のチェックリストと主な症状

* 事故や病気により脳が損傷されたあとに、お子さんに以前と変わった様子はありますか。以下のチェックリストで確認してみましょう。

チェックリスト

- 今日の授業で何をしたら思い出せない
 - 毎日会う友だちや担任の名前、日付を覚えられない
 - 何度も同じことを聞く
 - 少し前に言われたことを覚えていない
 - 友だちとの約束を忘れたり、重複したりする
 - 人に言われたことを都合良く解釈し、作り話をする
 - 一度覚えたことに対する修正がきかない
-
- 授業中にぼーっとしたり、反応が鈍くなることもある
 - ちょっとした音や様子に影響を受けやすい
 - 会話の途中で思いついたことを一方的に話してしまう
 - 二つのことを同時にやろうとすると混乱する
 - 要領を得ない話をだらだらとする
-
- 今何をしたらよいか分からない
 - 言われたとおりのことしか行動できない
 - 次の授業の準備を自分からすることができない
 - 計画性がなく、行き当たりばったりの行動が多い
 - 作文や感想文をどう書いたら良いのか分からない
-
- やりたいことを我慢することができない
 - 気分がハイテンションになると止まらない
 - 気持ちの切り替えができず、しつこいことがある
 - その場にふさわしくない行動を取り、止められない
 - 周りを気にせず、思ったことをそのまま言う
 - 一つのことにとこだわり、やりきれないと気が済まない
 - 無気力・無関心のように見える
 - 学校で頑張りすぎて、家庭では疲れて極端に機嫌が悪くなったり甘えたりする
 - すぐ怒ったり、キレやすい
-
- 整列ができない
 - 人とのちょうど良い物理的な距離感が分からない
 - 教室を移動するときに迷う
 - 人や物によくぶつかる
-
- 人の話を集中して聞けなくなる
 - 疲れの度合いによって学習の理解度が大きくちがう
 - ぼーっとしたり、あくびをすることが多く、怠けているように見える
 - すぐ眠くなったり、うとうとしてしまう
 - 良い姿勢を長時間保つことができない

主な症状

「記憶障害」かもしれません

新しいことを覚えることが難しくなったり、少し前のことが思い出せない、約束を忘れてしまったりする障害です。

「注意障害」かもしれません

集中力が続かなかったり、気が散りやすい、複数のことを同時にできなくなったりする障害です。

「遂行機能障害」かもしれません

物事を計画的に行うことや、段取りよく行うこと、優先順位をつけることが難しくなる障害です。

「社会的行動障害」かもしれません

自分の行動や感情をコントロールすることが難しくなる障害です。

「空間認知の障害」かもしれません

周りの人や物、場所などの位置関係が分からなくなったりする障害です。

「易疲労性の症状」かもしれません

脳に損傷を受けると、とても疲れやすくなります(神経疲労といえます)。

* 高次脳機能障害は、症状によって各種障害者手帳(身体障害・知的障害・精神障害)の取得や福祉サービスを利用することができます。また、学校においては、特別支援教育等の教育的支援を受けることができます。